

福島第一原子力発電所周辺のモニタリングポストにおける  
空間線量率の一時的な上昇について

令和 6 年 6 月 1 2 日  
福島県環境放射線センター

1 概要

3月5日に県が設置しているモニタリングポスト（双葉町新山局、福島第一原発から北北西へ約3.9 km）において、空間線量率の一時的な上昇が確認された。周辺のモニタリングポストの数値を確認したが、類似の上昇は見られず、新山局のみであった。

状況確認したところ、新山局のモニタリングポスト近傍で行われている橋りょう下部工工事において当該時間帯にX線発生装置を使用していたことが判明し、空間線量率の上昇は当該装置の影響であると考えられた。

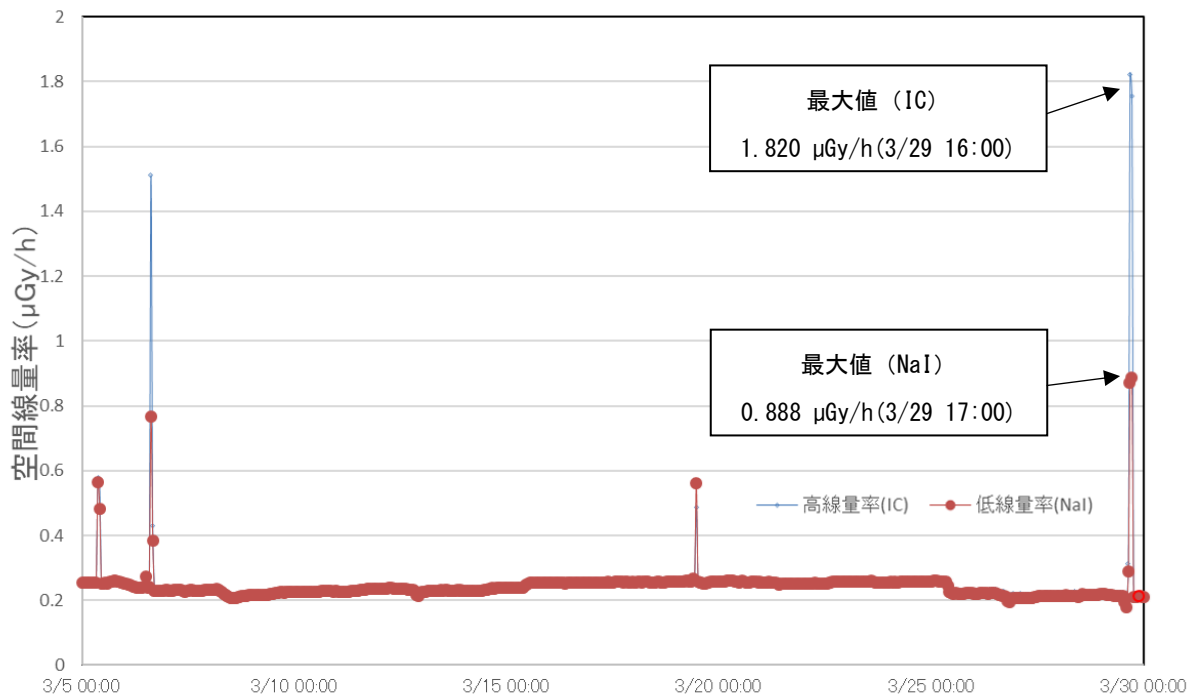


図-1 新山局の空間線量率トレンドグラフ (1時間値)

2 X線発生装置の使用状況

装置の名称 RADIOFLEX-250EG-S2 (工業用ポータブルX線装置)

装置の用途 放射線透過試験 (金属杭の非破壊検査)

装置の使用日 3/5、3/6、3/19、3/29 の4日

※ X線発生装置を試験対象の金属杭に磁石で取り付け、4方向から照射

写真 X線発生装置の使用状況（3月29日）



X線発生装置



検査対象の杭とX線発生装置の取り付け状況



新山局の検出器と検査対象の杭の位置関係